

10105酒類製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	14 ～ 15	醸造蔵内で放冷機の下に溜まっていた米を右手でかき出していた際に、作業服の左袖が回転していた軸の突起部に引っ掛かり、腕ごと巻き込まれて左前腕を負傷した。	29	7	162	10 ～ 29
2	2019	1	17 ～ 18	工場内、仕込み発酵製造場内のバルブメンテナンス作業で、バルブ弁座洗浄の液量確認のため、該当バルブ設置場所のステージへ垂直固定ばしごを下りようとした。その途中、はしごの滑り止めが剥がれ、はしごから右足が滑り落ち、両足が浮いた状態になり、両手ではしごを持った状態で滑り落ち、右足踵から着地、その衝撃で右足半月板を損傷した。	38	1	371	100 ～ 299
3	2019	1	13 ～ 14	翌日に開催されるイベントに倉庫を使用するため、別作業員がフォークリフトで倉庫内を片付けていた。フォークリフトが倉庫からバック走行で出てきたとき、被災者がフォークリフトの走行延長線上を横切る形で同僚と話しながら歩いていた。運転手は被災者に気付かず、フォークリフトの右後輪が被災者の右足に乗り上げた。運転手が慌てて前進させたところ、再度右後輪で踏まれ、右足首を骨折した。	58	7	222	50 ～ 99
4	2019	1	11 ～ 12	仕込み蔵放冷場で蒸米放冷作業中、足場床と仕込みタンクの間隙に左足が落ち、左胸部をタンク上部に強打して肋骨を折った。	33	1	416	10 ～ 29
				醸造工程で使用した布製の袋等を手洗い作業中、少し離れた場所に				

5	2019	1	11 ～ 12	ある洗濯機の電源を切るために移動した。その後、元の手洗い作業場に戻る際、床面から20～30cmの高さに連結された米蒸気用のスチームパイプを跨いだとき、着用していた前掛け、長靴がパイプに引っ掛かり、バランスを失い、前のめりで倒れたため、左膝を強打し、左肩より仰向けに倒れ負傷した。	70	2	417	30 ～ 49
6	2019	2	12 ～ 13	工場にて、トイレの床・壁の修理工事中、タイル下地用の砂をセメントミキサーで混ぜる作業中、軍手をしたままミキサー内に手を入れ、誤って回転している本体とタンク内壁に左手中指を挟み切断した。	59	2	222	30 ～ 49
7	2019	2	10 ～ 11	酒蔵にて、作業後の放冷機を、高圧洗浄機を使用して洗浄中、回転している機械の中に誤って左手を入れてしまい、第2、3指を切断した。	18	7	165	10 ～ 29
8	2019	2	9 ～ 10	酒造の蔵で、天井の蛍光灯の取り換え作業中、足場の脚立から足を踏み外し転倒したため、頭部を負傷し、外傷性くも膜下出血を起こした。	56	2	371	10 ～ 29
9	2019	3	12 ～ 13	本社倉庫で出荷作業中、18L缶（みりん、23kg）を持ち上げたところ、左腰に違和感があり、しばらくして左足が動かなくなり、急性腰痛症を発症した。	29	19	921	10 ～ 29
10	2019	3	14 ～ 15	農園で、防じんマスク、ゴーグル、カッパ等の装備をして農薬散布（切開硫黄合剤）をしていたところ、強風のため散布していた農薬が顔に掛かった。また地面に左膝をついた際、カッパを通して農薬がしみて、顔と左膝がアルカリ性化学熱傷を負った。	31	12	519	10 ～ 29
11	2019	3	9 ～ 10	蒸し米の放冷機片付け作業中、攪拌用のローラーに衣服が巻き込まれ、左前腕部を骨折した。	18	7	169	1～ 9
12	2019	3	15 ～	仕込みタンクとロッカーとの間に掛けられていた紅白幕を外す作業をしていて、近くにあったP箱（一升瓶コンテナ、外寸39cm×26cm×43cmほど）に乗って作業しようとしたが、P箱が	25	1	371	1～

			16	思ったより軽く滑って体全体ごとバランスを崩し、左踵を骨折した。				9
13	2019	4	7 ～ 8	工場内で仕事中にトイレへ行く途中、平らなコンクリート面で急に足が動かなくなり、転倒して右膝を骨折した。	23	2	921	10 ～ 29
14	2019	4	14 ～ 15	流動床式焼却炉の焼却物投入設備で、投入用二重管式ノズルを交換していた。その際、ノズルの冷却水ハンドバルブを誤って閉めた状態で長時間放置したため、炉内で冷却水が過熱状態になり、ノズルから冷却水配管の接続部を取り外したときに、フラッシュした蒸気（熱水）を両手に浴びて熱傷を負った。	42	11	341	30 ～ 49
15	2019	4	16 ～ 17	店舗正面玄関のガラス拭きをするため、自動ドアのセンサーを止めて手動状態で作業をしていた際、お客様が来店したのでドアを手動で開け、閉めた際に誤って指を挟み右手小指を骨折した。	45	7	418	30 ～ 49
16	2019	5	14 ～ 15	出張帰りに飛行機に乗るため、駅方面に歩いていたところ、歩道で左足をくじき骨折した。	28	18	921	10 ～ 29
17	2019	6	12 ～ 13	工場にて、ベルトコンベアーの清掃中に、誤って、動いているベルトコンベアーの裏側に手を入れて、左手前腕が巻き込まれ、左上腕筋挫滅創を負った。	36	7	224	30 ～ 49
18	2019	6	11 ～ 12	出張中、駅のホームで電車に乗り込む際、混雑している電車に乗るため、大きなリュックを前に抱える形にしており、足下が確認しにくい状況であった。そのため、前の人との足と接触し、咄嗟に右足を引き、下ろした場所がちょうど電車とホームの間で、手をつく間もなく落ち、車体とホームで右足大腿部を強打した。	32	1	232	10 ～ 29
19	2019	6	9 ～ 10	自社酒造内のびん詰め工場で、洗浄機にて洗い終わった酒びん（1.8?）を洗浄機から取り出しP箱に入れる作業中にびんを落としてしまい、割れたびんを拾った際に右手の人差し指と中指の間を切っ	22	8	529	10 ～ 29

				て負傷した。				
20	2019	7	15 ～ 16	職場内で、リフトのアームを差し込んで使用するパレットを片付けていた際、本来側面にある穴を持ち2人で運ぶが、1人で運んでいたため、誤って底部を持ち、パレットを下ろす際に重みと勢いに耐えられず、指を挟み左手人差し指第1関節を骨折した。	62	7	379	10 ～ 29
21	2019	7	10 ～ 11	工場内の大型ラインで、資材供給リフト作業中に気分が悪くなり、熱中症になった。	52	11	715	100 ～ 299
22	2019	8	15 ～ 16	甘酒製造場原料室にて、甘酒をポンプで小型タンクへ排出する作業中、ポンプの駆動ベルトが滑り動かなかったため、滑りを止めるため手でベルトを送った際、急に回転したベルトに挟まれ、左手人差し指を切断した。	48	7	121	50 ～ 99
23	2019	9	9 ～ 10	仕込み蔵にて、プレートヒーターで加熱したお湯を使って、洗浄作業をしているときに、水配管を共用している洗濯機の稼動により、プレートヒーターに流れ込む水の量が急激に減ったことにより、ホースから熱湯が吹き出し、腕、胸、腹、大腿に熱傷を負った。	49	11	169	10 ～ 29
24	2019	9	9 ～ 10	蒸し米10kg前後の入った桶を2階まで階段で持って上がり、中腰の状態での米を押し広げる作業に取り掛かった瞬間、左腰部に激痛が発生し負傷した。	65	19	921	1～ 9
25	2019	10	16 ～ 17	製品工場の瓶詰ラインで、作業終了後の後片付けとして、踏み台のパレットを移動させていた。そのとき、パレットを引っ張っていた手が外れ、後ろに倒れて腰を強打し骨折した。	73	2	379	50 ～ 99
26	2019	10	5 ～ 6	製造工場内で蒸留機の準備作業中に操作を誤り、蒸留機から突然水が噴出した。対応するため機械に駆け寄ろうとしたとき、つまずいて転倒し、左膝靭帯を断裂した。	35	2	416	10 ～ 29
27	2019	10	8	酒母室で、もろみを他の容器に移し替えるため、容器（1500L）の底に棒を差し込んで容器を浮かせたところ、棒が滑って容器のバラ	47	7	391	50 ～

			9	ンスが崩れた。その際、右手親指を添え木に挟んで骨折した。				99
28	2019	10	16 ～ 17	製品にラベルを貼る機械を清掃中に、印字シリンダーのインクを落とそうと、直接手で作業してしまったため、印字シリンダーとゴムローラーの間に指を挟み、左手中指の挫滅創を負った。	29	7	169	30 ～ 49
29	2019	10	7 ～ 8	焼酎製造工場で、芋蒸釜を洗浄するため、蓋を開けて、釜内のスクリュウを回しながら、洗浄ガンで、原料芋の残りカスを洗い落としていたが、スクリュウ近くの端に、芋の残りカスを見つけ、右手で払い落とそうとした際に、右手中指のゴム手袋が巻き込まれ、右手中指を切断した。	46	7	165	1～ 9
30	2019	10	15 ～ 16	お酒を調合する場所でタンク内のお酒の量を量ったあとに、はしごを下りるとき、誤って足を踏み外し、1メートルほど下に落ちて踵を強打し骨折した。	60	1	371	10 ～ 29
31	2019	10	10 ～ 11	芋焼酎の仕込み作業中、?棚から米麴をざるに取り、タンクまで運んでいた。その際、米麴の粉塵を吸い込み、アレルギー反応が生じて呼吸困難になり、アナフィラキシーショックを起こした。被災当時、マスク着用は義務付けられていなかった。	19	12	519	10 ～ 29
32	2019	10	16 ～ 17	梱包作業倉庫内で、ポリカップの蓋にカバーを被せ、約20kgの番重を持ち上げて運んでいた。その作業を狭い場所で繰り返していたところ、腰を捻挫した。	48	19	611	50 ～ 99
33	2019	11	15 ～ 16	芋を洗浄する攪拌機に2名の作業員が入り、洗浄機内に残った芋を手作業で、バケツに取り出していた。別の作業員が誤って、洗浄機が作動するスイッチを押してしまい、右鎖骨骨折および右胸部に裂傷を負った。	65	7	169	30 ～ 49
34	2019	11	15 ～ 16	芋を洗浄する攪拌機に2名の作業員が入り、洗浄機内に残った芋を手作業で、バケツに取り出していた。別の作業員が誤って、洗浄機が作動するスイッチを押してしまい、右肋骨多発骨折および擦過傷を負った。	39	7	169	30 ～ 49

35	2019	12	14 ～ 15	精米所にて、2階より階段を下りる際、階段を踏み外し、下から7段目より滑るように落下し、右足首の靭帯を損傷した。	35	1	413	10 ～ 29
----	------	----	---------------	---	----	---	-----	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。